

# 「仲景杯」全国学生漢方選手権大会

〈開催要綱〉

主催：第73回日本東洋医学会学術総会

〈事務局〉

第73回日本東洋医学会学術総会 運営事務局

担当：園川

〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名2-6-5 天神西通り館6F

TEL：092-715-0633 FAX：050-3730-8614

E-mail：[contact@73jsom.com](mailto:contact@73jsom.com)

〈第73回日本東洋医学会学術総会 HP〉

<https://73jsom.com/>



全国学生漢方選手権大会

## 「仲景杯」全国学生漢方選手権大会 開催要綱

会の名称 「仲景杯」全国学生漢方選手権大会

主催 第73回日本東洋医学会学術総会

責任者 会頭 栗山 一道（医療法人素心庵 栗山医院 院長）

運営組織

「仲景杯」運営委員長 梁 哲成（やんハーブクリニック 院長）

審査委員長 並木 隆雄（千葉大学医学部附属病院 和漢診療科診療教授）

審査委員 貝沼 茂三郎（富山大学医学部附属病院特命教授）

加島 雅之（熊本赤十字病院 総合内科部長）

板倉 英俊（神奈川県立がんセンター東洋医学科部長）

開催趣旨

2千年以上の歴史をもつ東洋医学は、つい百数十年前の幕末までは、こと内科医学について世界最高水準を誇っていました。世界の近代化の歴史の変遷によって遠ざけられたこの医学も、その有効性によって決して埋もれることなく脈々と生き続け、医療用漢方エキス製剤の保険適応を経て、現代では日本のほとんどの医科系大学の講座に取り上げられ、この日本は臨床医の多くが当たり前のように処方する時代になりました。とは言え、東洋医学の講義はわずかであり、医学生は本格的な教育を受けているわけではありません。そんな中でも、東洋医学に興味を持って活動する医学生が全国に多数おり、一部の地域では交流が盛んにはかかれていますし、SNS上においては全国的な交流も起こり始めているようです。そこで、この度、各地から医学生有志を一堂に参集し、東洋医学を楽しみ、学び、交流することは、医学生にとって、東洋医学教育の一環としてのみならず、新鮮で貴重な社会的経験となり、豊かな人間性を育むであろうと考えます。21世紀に入り、現代医学はEBMを推進することで急速な発展を遂げている一方、EBMからみられる患者らはむしろ臨床の場から遠ざけられている傾向があります。東洋医学にも東洋医学の科学的根拠があり、それによって患者の病態を論理的に分析し対策をたてる独自の方法論があります。これを身につけることで、臨床から遠ざけられた患者の多くを救うことにもつながります。東洋医学の論理はとてもシンプルで論理的であり、その体系は整然とした美しい学問です。次代を担う医学生たちの豊かな創造性や軽やかな感受性を刺激することは間違いありません。彼らはこの福岡の地でその東洋医学の魅力を我々の前にみごとに開いてくれることでしょう。

以上のように「仲景杯」は東洋医学を通じ学生通しの交流と若者の知的活動の活性化に必ず寄与するものと考えます。

開催日程・場所 2023年6月17日（土）12:30- 福岡サンパレス 2F 末広（予定）

## 大会概要

### 大会について

1. 大会は、対面とオンラインのハイブリッドで行われる。
2. 大会は、応募チームと招待チームで開催される。
3. チームは、最多12チームまでとする。規定数に達した場合、応募を締め切る。
4. 大会は、大会実行委員会の出題担当者が提示した症例演習問題の解答を各参加チームがプレゼンテーションし、その後、他のチームとの討論を行い、それらを審査委員が総合評価して、優勝、準優勝、審査委員特別賞、出題者特別賞を争う形式で行われる。
5. 6月15日(木)の17:00に、全参加チームに一斉に症例演習問題をメールに添付して送付する。
6. 出題する症例はあらかじめ患者本人の承諾を得た上で、プライバシーの保護と本大会の出題に適することを目的に、経過・症状・所見の一部を改変している。
7. 各参加チームは、6月17日(土)の10:00までに、症例検討の発表に使用するPPスライドをメールに添付して事務局に送付する。
8. 6月17日(土)の10:30に各チームのPPスライドを全チームに公開する。  
各チームは討論の内容の参考にすることができる。
9. 大会当日の発表の順番はあらかじめラインのグループによる抽選会で決める。
10. 13:00から各チームがプレゼンテーションと質疑応答を開始する。
11. プレゼンテーションは10分、質疑応答は質疑1分、応答2分で行う。
12. プレゼンテーションは、PPスライドを用いながら、方証相対や弁証論治：主に症状・所見の分析と東洋医学的診断の過程、方剤選択の根拠、最終的に処方する方剤と、方剤の内服回数と方法、生活指導などの解説で行うが、適宜、現代医学的な病態分析やその（疑いもしくは確定）診断や、必要な現代医学的な検査と対策も現代医学的根拠をあげて追加解説してよい。
13. 最終的に処方する方剤は、日本の医療用漢方エキス製剤の単剤に限る。
14. 質疑応答の質疑は挙手順に行う。各チームは大会を通じて何回質疑を行ってもよいが、1チームに対しては1つまでとする。
15. 質疑の順番は、挙手の順番による。挙手の順の判定は行司が行う。
16. 発表と質疑応答が終了後、その日のうちに審査委員による審査が行われ、優勝、準優勝、審査員特別賞、出題者特別賞が発表され表彰が行われる。

## 評価基準

1. 審査委員は4人で構成される。
2. 各審査員は、各チームのプレゼンテーションと討論の内容について、漢方もしくは中医学のそれぞれの立場の一貫性があり、論理的に必要なかつ十分な分析と考察が行われていたかどうかを、10点満点（0～10点）で評価する。（また、診療上で必要な現代医学的な対応があれば、それについても評価の対象になることもある。）ただし、各チームの処方方剤が出題者の想定した方剤と一致しているかどうかは、優勝、準優勝、審査委員特別賞の評価基準には含まれない。
3. 各審査員は、各チームのプレゼンテーションが分かりやすいかを、（PPスライド、手順、語り口などを総合的に評価し、）5点満点（0～5点）で評価する。
4. 各審査委員は、各チームの質問が的を射たかどうかを、1回につき1点満点（0～1点）で評価する。
5. 各審査委員は各チームの応答が的確かどうかを、1回につき、±1点満点（-1～+1点）で評価する。（質疑のない場合は、その発表チームには無条件に3点が与えられる。）
6. これらの評価点の総点で優勝と準優勝が決定される。同点の場合は、審査委員及び出題者の検討の上、全員一致で決定する。決定できなかった場合は、審査委員長に一任される。
7. 審査の際に、特に個性的で優れた発表や質疑応答をしていたチームに対して審査委員の中から推薦があり、全員一致で認められたチームにはついでに、審査委員特別賞が与えられることがある。
8. 処方方剤が出題者の想定した方剤と一致しているチームには、出題者特別賞が与えられる。
9. プレゼンテーションと質疑応答は時間厳守が求められる。時間がオーバーした場合は進行中に警告される。繰り返し警告された場合は減点の対象となる。

## 大会精神

『仲景杯』は東洋医学のフィールドで、医学生の論理性と表現力を競う場であり、決して意見の異なる個人や団体を誹謗中傷する場ではないので、厳しくフェア精神が求められる。これに反したと審査委員が判断した場合は、直ちにプレゼンテーションや討論が中止され、大きな減点対象または退場が求められることがある。

## 大会スケジュール

2023年6月15日（木）	
17:00	症例演習問題送付 ご提出いただいた参加者のメールアドレスに、一斉送信いたします。代表者の方は、チーム全員が受信しているか、確認をお願いします。
2023年6月16日（金）	
13:00	控室オープン（現地会場のみ） 会場で発表準備を行う場合は控室を利用することが可能です。感染防止対策を遵守の上ご利用ください。
2023年6月17日（土）	
10:00	控室オープン（現地会場のみ） 発表スライドの提出 症例検討の発表に使用する PP スライドをメールに添付して事務局（ <a href="mailto:contact@73jsom.com">contact@73jsom.com</a> ）へお送りください。
10:30	発表スライド公開 各チームの PP スライドを全チームに公開いたします。他チームの発表スライドを確認し、討論の参考にしてください。
12:00	休憩（昼食） 現地参加のチームにはお弁当をご用意しております。
12:30	開会式
13:00-17:00	プレゼンテーション・討論
	審査
17:30	表彰式 現地参加のチームは 17:20 までに会場にお戻りください。 WEB 参加のチームも 17:20 までに Zoom 内に待機してください。
18:30	WEB 懇親会

## 参加者へのご案内

### 現地会場で参加される方へ

#### ■感染防止対策について

本大会は新型コロナウイルス感染拡大予防のため厚生労働省および自治体、施設のガイドラインを遵守して運営いたします。感染防止対策、参加条件などは第73回日本東洋医学会学術総会 HP にて適宜ご案内いたしますので必ずご確認ください、ご協力をおねがいたします。

#### ■昼食について

発表当日の6月17日（土）に限り、お弁当をご用意いたします。  
飲食は控室でお願いいたします。（黙食にご協力ください。）

### Zoomで参加される方へ

■Zoomは、性質上インターネットの通信状況や接続機器等に影響されます。以下の注意点をあらかじめご確認ください。

■インターネットへの接続は、通信環境が良い場所でご参加ください。有線LANのご利用を強く推奨いたします。

■発表はPCからの接続をお願いいたします。スマートフォンやタブレットからの接続は回線が不安定になったり、切断したりする恐れがありますので、使用をお控えください。

■同じ場所から複数のPCで参加される場合は、エコー・ハウリングが起きやすくなります。Web会議用のマイク・スピーカー、イヤホンマイクをご利用いただくと、エコー・ハウリングの防止になり、より適した通話が可能となります。

■PCの負担軽減のため、不要なアプリケーションはすべて閉じてからZoomをご使用ください。

■Zoom入室時は、表示名を「チーム名 氏名（漢字）」と設定してください。